



# 消防千葉

2022 No.589 令和4年8月号

---

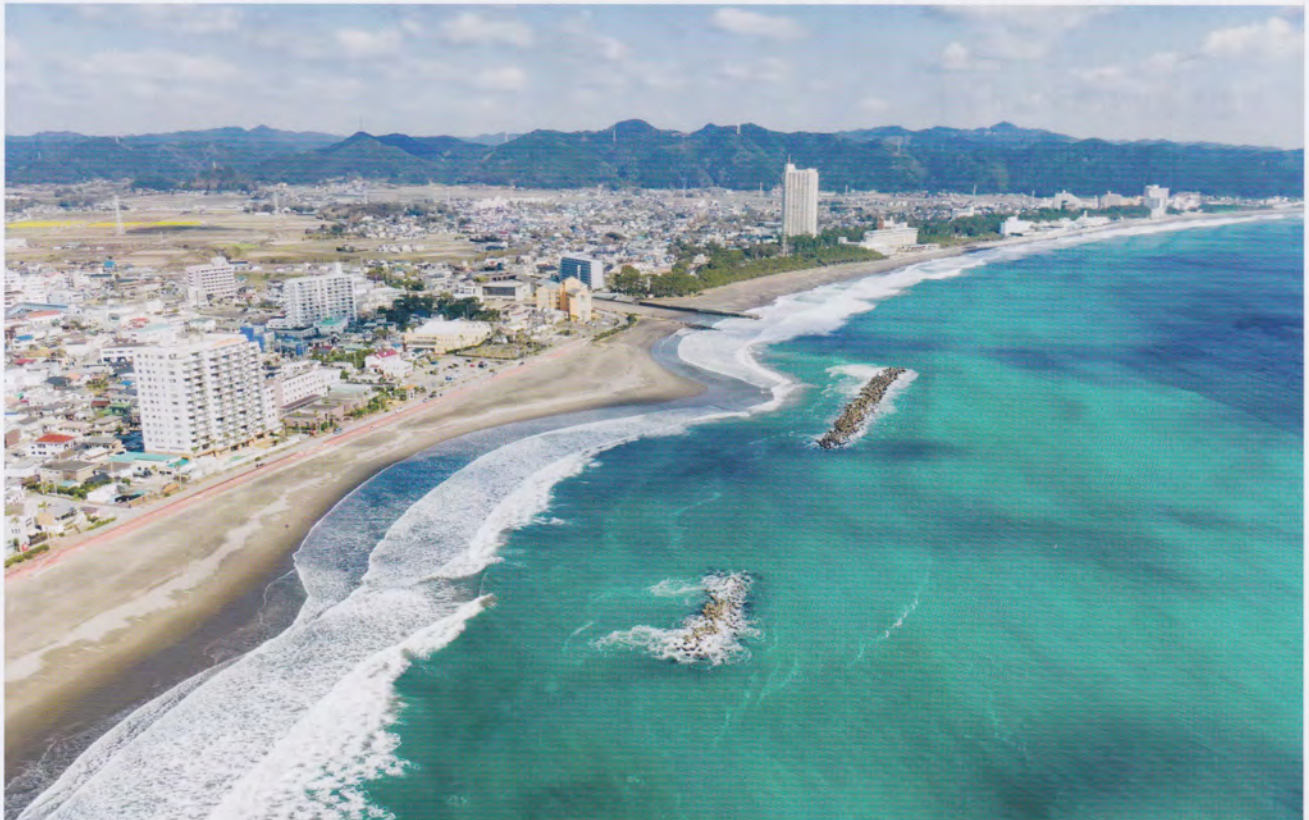
---

## 目次

巻頭言 (松戸市消防局消防局長)	2
第58回千葉県消防操法大会	3～5
第50回消防救助技術関東地区指導会	6・7
わが町の消防団 (鎌ヶ谷市消防団・袖ヶ浦市消防団)	8・9
東西南北	10～13
日々の動き	14

---

---



前原・横渚海岸 (鴨川市) 安房支部



## 巻 頭 言

## 市民と共に築く、災害に強いまち まつど

松戸市消防局 消防局長 山崎 武



松戸市は千葉県北西部に位置し、都心から約20km圏内という立地から首都圏のベッドタウンとして、発展してきました。西は江戸川を境に東京都葛飾区、埼玉県三郷市と接し、南は市川市東は鎌ヶ谷市、東から北にかけて柏市、流山市と接しております。市域面積は61.38km<sup>2</sup>で東西11.4km、南北11.5kmと、ほぼひし形状の広がりとなっております。

当市は、鳥取県名産の「二十世紀梨」の発祥の地であり、市内を流れる江戸川には伊藤左千夫の小説「野菊の墓」や歌謡曲でも有名な「矢切の渡し」があり、観光名所の一つとなっております。

また、第15代将軍徳川慶喜の実弟である徳川昭武の別邸「戸定邸」は、平成18年7月に国の重要文化財に指定され、伝統と歴史が息づくまちでもあります。

当局は、昭和29年11月1日に県下7番目の消防本部として発足しました。魅力あるわがまちの安全・安心をまもるため、当局は1局6課10消防署、職員507名の組織体制をとり、職員一丸となって業務に取り組んでおります。

しかしながら近年、災害は複雑多様化しており、首都直下地震等の巨大地震災害発生による被害のリスクに加え、線状降水帯による集中豪雨等様々な自然災害・気象状況の変化による災害等の発生があげられます。また、感染症対策に関することや国際情勢の変化によるテロ災害に関する対応も求められております。

その変化に対応できるよう、職員一人ひとりが日々訓練と知識の習得に励み、消防力の底上げを図っております。また、令和3年2月に共同指令センター第2期整備として、構成10市による「ちば北西部消防指令センター」を運用開始したところであり、消防指令管制システムの安定稼働を図るとともに、総務省で推進されている地方行政のデジタル化についても消防行政が遅れを取ることなく取り組む所存です。

一方で、複雑多様化する災害から市民をまもるためには、消防機関や各関係機関による「公助」だけでなく、地元の企業や地域住民等の「自助」、「共助」は必要不可欠なものとなっております。

特に、地域防災の担い手であり、中核的役割を果たす消防団員は、全国的に減少傾向にあり本市においても例外ではなく、団員の確保は喫緊の課題となっております。このことから、当局・消防団の総力を挙げて入団促進、消防団活動体制の強化及び処遇改善に取り組み、消防力の強化だけでなく、地域防災力の充実強化・活性化を図っております。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない中、市民のニーズに応えた救急業務を遂行するため、各種感染症予防の充実強化を図り、各関係機関との連携強化にも努めております。

結びに、消防行政への市民ニーズは多様化するとともに高まっております。今までの消防のあり方を見直し、引き続き「市民と共に築く、災害に強いまち まつど」を目指し、全力で業務に取り組んでまいります。



## 第58回 千葉県消防操法大会の開催

(令和4年7月30日、於千葉県消防学校)

千葉県と(公財)千葉県消防協会が主催(後援(公財)日本消防協会)する第58回千葉県消防操法大会が7月30日(土)千葉県消防学校において開催されました。

大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの開催となりましたが、引続き感染拡大防止対策に最大限配慮し、参加者の絞り込み、開会式等の簡素化など規模を縮小して開催されました。当日は猛暑のなか、県内の消防関係者等約800名が参加し、県内支部からポンプ車操法の部8チーム、小型ポンプ操法の部9チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。



開会式



景山総指揮者

午前9時、景山幸雄君津支部長の総指揮者宣言による整列の後、開会の宣言が行われ、大会名誉会長熊谷俊人千葉県知事、大会会長 石橋毅千葉県消防協会長の挨拶に続き、佐野千葉県議会議長、川名千葉県議会総務防災常任委員会委員長をはじめ多くの来賓の皆様を紹介が行われ、小平泰造消防学校長から審査に係る諸注意をもって開会式は終了しました。



熊谷千葉県知事



石橋消防協会長



来賓の皆様



小平消防学校長



操法演技の開始前には、熊谷俊人千葉県知事、石橋毅千葉県消防協会長が各支部に赴き、選手への激励が行われ、競技が開始されました。

各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、応援する団関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開されました。

### ポンプ車操法の部



### 小型ポンプ操法の部





審査の結果は、小平泰造審査長（千葉県消防学校長）から発表され、団体表彰の最優秀賞についてポンプ車操法の部は市川市消防団が、小型ポンプ操法の部は松戸市消防団がそれぞれ受賞し、10月29日開催予定の全国消防操法大会に千葉県代表として出場いたします。



ポンプ車操法の部 市川市消防団



小型ポンプ操法の部 松戸市消防団

★ 団 体 の 部 成 績

ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部	
順 位	消防団名	順 位	消防団名
最優秀賞	市川市消防団	最優秀賞	松戸市消防団
優 秀 賞	四街道市消防団	優 秀 賞	市原市消防団
優 良 賞	八千代市消防団	優 良 賞	市川市消防団
努 力 賞	成田市消防団	努 力 賞	成田市消防団
//	柏市消防団	//	多古町消防団
//	長生郡市広域市町村圏組合消防団	//	いすみ市消防団
//	匝瑳市消防団	//	佐倉市消防団
//	東庄町消防団	//	長生郡市広域市町村圏組合消防団
		//	館山市消防団

★ 個 人 の 部 成 績

ポンプ車操法の部			小型ポンプ操法の部		
順 位	消防団名	氏 名	順 位	消防団名	氏 名
最優秀指揮者	八千代市消防団	吉橋 徹	最優秀指揮者	松戸市消防団	松本 和哉
最優秀1番員	柏市消防団	円谷 憲人	最優秀1番員	市川市消防団	岡本 成生
最優秀2番員	市川市消防団	三谷 昌秀	最優秀2番員	松戸市消防団	三浦 亮介
最優秀3番員	市川市消防団	松丸 正典	最優秀3番員	市原市消防団	阿部 将司
最優秀4番員	成田市消防団	大崎 誠			



# 第50回消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月15日（金）東京都立川市において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第50回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本指導会には、1都9県（173消防本部）から選抜された668名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月26日（金）東京都立川市で開催される第50回全国消防救助技術大会を目指して日頃練磨した救助技術を競いました。

千葉県からは8消防本部97名の隊員が県代表として出場、応援に駆け付けた皆様の大声援を受けて、日頃の成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。

## 陸上の部

### ☆ 引揚救助



・ 山武郡市広域行政組合消防本部

- 消防士長 林 航平
- 消防士長 湊邊 俊希
- 消防士長 斉藤 正剛
- 消防士 麻生 和輝
- 消防士 大柴 悠人



・ 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

- 消防司令補 土屋 清幸
- 消防士長 森谷 佑介
- 消防士長 青山 純士
- 消防士長 中村 大佑
- 消防士長 川名 篤磨

### ☆ ロープブリッジ救出



・ 千葉市消防局

- 消防士長 鏑本 賢男
- 消防士長 宮川 成人
- 消防士 永塚 蘭斗
- 消防士 狩野 誠也



・ 松戸市消防局

- 消防士長 山田 弘明
- 消防士長 根岸 駿
- 消防士長 矢ノ倉将志
- 消防士長 藤山 光



☆ 障害突破



- ・千葉市消防局
- 消防士長 林 直孝
- 消防士長 鈴木 康介
- 消防士 秋山 弘貴
- 消防士 伊藤 陽平
- 消防士 石橋 陸



- ・成田市消防本部
- 消防司令補 櫻井 真吾
- 消防司令補 村松 博文
- 消防士長 布留川拓耶
- 消防士長 菅澤 周太
- 消防士長 大森 脩登

水上の部

☆複合検索



- ・千葉市消防局
- 消防司令補 並木 悠



- ・市川市消防局
- 消防士 小林 翔易

☆基本泳法



- ・船橋市消防局
- 消防士 堀内 敦貴



- ・市川市消防局
- 消防士 篠原 優太

6月1日 千葉県大会結果による全国大会出場者（陸上の部） … 6・7月号に掲載

☆はしご登はん

- ・山武郡市広域行政組合消防本部
- 消防士長 田部 純護

☆ロープブリッジ渡過

- ・千葉市消防局
- 消防士長 泉 達也

☆ロープ応用登はん

- ・流山市消防本部
- 消防士長 伊藤 竜太
- 消防副士長 小林 涼平

☆ほふく救出

- ・成田市消防本部
- 消防司令補 山口 惇一
- 消防士長 中村 仁
- 消防士 大橋 真樹

おわりに

全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。



## わが町の消防団 ① 鎌ヶ谷市消防団

鎌ヶ谷市は、千葉県の北西部、東京都心から25キロメートル圏内に位置し、北総台地のなだらかな緑の大地の上に広がる総面積21.08平方キロメートルの都市です。

市内には、東武野田線（東武アーバンパークライン）・新京成線・北総線・成田スカイアクセス線の私鉄4線が乗り入れ、都心（日本橋、浅草等）へ直通で約30分、船橋、松戸、柏等の沿線都市へも20分以内という恵まれた立地条件にあります。

鎌ヶ谷市は、昭和46年9月1日に人口44,760人を擁して、県下24番目の市となりましたがその後の着実な人口増加により令和4年6月1日現在で、109,755人（住民基本台帳人口）の市民が暮らしています。

こうした発展の中にありながら、豊かな農地や緑の環境を残し、梨の名産地としても全国にその名を知られています。

消防団員数は、川上英明 消防団長以下146名で、団本部、女性部、8個分団を組織し消防ポンプ自動車8台を運用しております。

近年は、会社勤めの団員が増加し、昼間の人員確保が難しくなりつつありますが、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神から、生業のかたわら火災の消火活動はもとより、風水害などの災害活動にも従事するとともに、地域防災の担い手として地域住民の生命・財産を守るため、日頃から各種訓練に取り組んでおります。



訓練は、年間計画に基づき各分団毎の計画訓練や新入団訓練、消防操法訓練及び全消防団員を対象とした合同訓練を3回実施しています。このうち合同訓練は、日本ハムファイターズ鎌ヶ谷スタジアムの施設を借用し災害時の連携を想定した実践放水訓練などを行っております。

また、女性部団員は、応急手当指導員の資格を取得し、消防本部で開催される普通救命講習や自主防災組織の訓練へ参加し、AEDの取り扱いや消火器の取り扱い、三角巾による応急処置の指導など地域に寄り添った活動を行っております。

鎌ヶ谷市消防団では、今後も多発化・激甚化する各種災害に対し、組織的に対応できるよう日頃から訓練を実施するとともに、地域防災の要であることを自覚し市民の安全・安心を守るため、団員一丸となり活動してまいります。





## わが町の消防団 ② 袖ヶ浦市消防団

袖ヶ浦市は東京湾沿いの千葉県のほぼ中央（東経139度58分、北緯35度26分）に位置し、面積94.92平方キロメートル、東西14キロメートル、南北13.5キロメートルの羽を広げた蝶型をなし、平坦な丘陵地帯です。気候は総じて温暖で、自然環境に恵まれており、令和3年4月には市制施行30周年を迎えました。

袖ヶ浦市の人口は約6万5千人で、子育てしやすい街、暮らしやすい街として近年人気が高まっており沿岸部の開発が進み都心からの移住者も増加傾向にあります。また、東京湾アクアライン高速バスのネットワークが充実し、交通結節点としての利便性もますます高まってきております。



袖ヶ浦市消防団は、団長以下363名（1団本部・5方面隊18分団、女性消防団員11名、機能別消防団員50名）の団員で構成され、ポンプ自動車（CD-1型）14台及び小型動力ポンプ付積載車を4台配置、消防団詰所も計画的に再編整備を行い、各地域における防災拠点の充実を図っており、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という使命感を胸に、昼夜を問わず熱心な活動を続けております。

本市消防団の年間行事について紹介しますと、年度初めに新入団員を対象に、消防団長から消防団員の心構え、消防団の役割、重要性について学ぶ講習会を開くとともに、規律訓練によって消防団員に欠かせない厳正な規律や団結力等の習得をしております。

また消防・防災に関する知識や技術の向上を図るため、機械器具取扱訓練、救急講習を定期的に行い講師を招いての安全管理セミナー、操法大会及び早出し競技会を隔年で開催しております。

その他にも、年一回開催される消防フェスタに参加し、放水体験や消防団車両の乗車体験、女性消防団員による防災紙芝居など各種コーナーを設け、市民の方々に消防団は地域に密着した組織であることを深く理解していただき、団員確保に繋がるよう努めております。



記憶にも新しい令和元年房総半島台風をはじめ、近年頻発している自然災害は大規模かつ激甚化の様相を呈しております。こうした災害に対応するため、消防団全体の団結力はもとより、団員個々に求められる役割も重要性が高まっております。本市の消防団が実施している訓練につきましても、地震等の自然災害対応に特化した内容を実施し、いつ起こるかも知れない大規模災害を想定した、CSRM訓練や分団に配備した救助資器材の取扱い訓練に注力し消防力の強化を図っております。



今後も郷土愛護精神のもと、安全・安心なまちづくりに貢献すべく、関係機関と連携・協力しながら団員一丸となって共助の要としての誇りを持ち地域防災力の向上に繋がる活動を積極的に進めてまいります。



# 東 西 南 北

## 消防協力者に感謝状を贈呈 船橋市消防局

船橋市中央消防署（松本 貴署長）では、令和4年2月10日（木）に消防協力表彰を行いました。

当事案は、通行人から火災の情報を得た辻 政則様（アイング株式会社）が、消防隊到着前に果敢に消防活動に従事し延焼拡大を食い止めたものです。

迅速かつ適切な消火活動を行い、焼損をばやで納めた消防協力者に、船橋市中央消防署長から感謝状が贈呈されました。



## 消防協力者に感謝状と記念品を贈呈 四街道市消防本部

四街道市消防本部では、令和3年11月30日（火）に発生した車両火災事案において、早期発見及び初期消火活動を実施し、火災の延焼拡大阻止に貢献した消防協力者2名に対して敬意と感謝の意を表し、令和4年2月25日（金）消防長から感謝状と記念品の贈呈を行いました。

本事案は、駐車されていたワゴン車内から煙が出ているのに気付いた消防協力者2名が早期通報を行い駆け付けた車両の持ち主と共に、自らの衣服を使用して初期消火を行ったことで延焼拡大を未然に防いだものです。

なお、スケジュールの関係で欠席された1名の方へは、後日感謝状と記念品の贈呈を行いました。



感謝状贈呈時



感謝状贈呈後の記念撮影

※撮影時のみマスクを外しています。

## 火災予防広報用パネル、床シート及び防火標語バインダーを作成しました 松戸市消防局

松戸市五香消防署では、春の火災予防運動に向け松戸市防火・防災協会五香支部の協力のもと、縦横180cmの広報用顔出しパネルと幅45cm、長さ200cmの住宅用火災警報器の交換を促進する床シートを作成し、正面入口に設置して幼少期からの防火意識と家族ぐるみでの防災意識の高揚を目的としました。

また、職員が考案した数種類のユニークな防火標語を貼付したバインダーを業務出向時等に携行することで広報活動の一助となることを期待しています。新型コロナウイルス感染状況が収まらず直接市民に予防啓発ができない中、消防署にパネル等を設置することで市民の皆様にも防火・防災意識を高めていただけるよう引き続き努めてまいります。





## 東 西 南 北 少量危険物、指定可燃物の審査及び確認事務研修会を実施

### 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

当組合では、令和4年3月15日(火)、16日(水)の2日間、少量危険物、指定可燃物の審査及び確認事務研修会を実施しました。

これは、近年、増加傾向である非常用発電機の設置、合成樹脂類の貯蔵・取扱いの審査及び確認事務を円滑に行うため、査察執行責任者等に対して実施したものです。

研修会では、審査要領(座学)及び当組合が保有する危険物施設を利用した確認要領(実技)を通して予防事務の資質向上に繋がりました。



審査要領(座学)の状況



確認要領(実技)の状況

## 東 西 南 北 郵便局と連携し、消防団員募集の機動啓発活動を開始

### 市原市消防団

市原市消防団は、郵便局が実施している「地域貢献・地域創生施策」の一環として市内郵便局にご協力をいただき、郵便集配バイクや4輪車両等に現役消防団員がモデルとなった消防団員募集ステッカーを貼り付け機動的な広報を開始しました。

この取り組みを通して、消防団を少しでも身近に感じていただき入団希望者増加につながることを期待し、「災害に対する強靱なまちいちばら」を目指します。



## 東 西 南 北 デジタルサイネージを活用した火災予防を実施

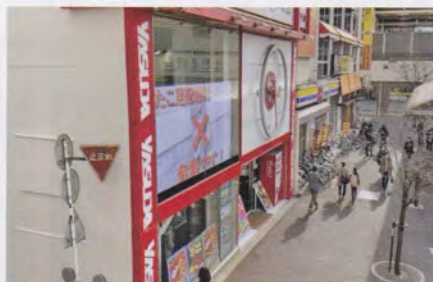
### 千葉市消防局

千葉市稲毛消防署では、新型コロナウイルスまん延防止重点措置の間、対面での予防啓発が困難なことから火災予防動画を作成し、稲毛区内に設置のデジタルサイネージを活用して広報を実施しました。(令和4年3月中)

身近に潜む火災の危険性を訴えたこの動画は、千葉市消防団PRキャラクター「けしびろう」が登場しています。

JR稲毛駅様、パチンコやすだ稲毛駅前店様のご協力の下、デジタルサイネージにて動画を発信し、効果的に火災予防を実施することができました。

今後も市民の皆様のニーズに応じた火災予防を、積極的に実施できたらと考えています。



やすだ稲毛駅前店デジタルサイネージ



JR稲毛駅構内デジタルサイネージ



## 東 西 水難救助に特化した消防ポンプ自動車を配置しました 南 北 松戸市消防局

松戸市消防局では河川の水難事故に対応するため、令和4年3月に水難救助に特化した消防ポンプ自動車を配置しました。

この車両は、ボート、船外機、レスキューボード、BCジャケットやブイを積載し、さらに、A-2級のポンプとタンク水600リットルを積載し、火災現場では迅速な消火活動が可能です。また、救助出場やPA連携出場にも対応できる消防車両となっています。

車両左側には、火災、救助、救急活動時に対応できる資器材を積載しています。その中でも火災で使用する管そうは最新の3種類のガンタイプノズルを積載しており、様々な防ぎょ戦術に対応できます。

車両右側には、水難救助時に対応できる資機材を積載しています。潜水救助と水面救助の両方に即応できより機動的な活動が可能になっています。

我々松戸市消防局水難救助隊は、この車両と資機材をフルに活かし、松戸市の安全・安心を守るため更なる災害対応力の向上に努めてまいります。



## 東 西 「消防吏員採用募集ポスター」完成 南 北 市川市消防局

市川市と包括協定を結んでいる千葉商科大学・政策情報学部の学生さん達に消防吏員採用募集ポスターを作成して頂きました。

斬新なアイデアで味わいのある素敵なポスターが出来上がりました。

こちらのポスターは、消防庁舎をはじめとする、市施設で掲示していきます。



## 東 西 JR銚子駅及び銚子警察署との無差別殺傷事件対策合同訓練を実施 南 北 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和4年3月25日(金)、JR銚子駅構内の列車で消防・警察・JRの三機関による列車内無差別殺傷事件対策合同訓練を実施しました。

本訓練は、近年列車内での無差別殺傷事件が発生していることから、JR銚子駅の御協力をいただき、定期運行中の列車が駅停車中に発生した、ブラインド型の実動訓練として各関係機関による初動対応・避難誘導・救助救護活動等を実施しました。今回訓練を実施し、活動内容の改善点等が確認できたことにより、今後更なる連携を図ることの重要性を感じた合同訓練となりました。





東  
西  
南  
北

## 新規採用職員が消防訓練センターにおいて訓練成果を披露！

～“令和”の時代を担う消防士達の門出～

### 船橋市消防局

船橋市消防局では、令和4年4月1日付けにて採用した消防士51人が消防局長の前で訓練成果を発表する「消防局長査閲」を4月28日（木）、船橋市消防訓練センターにて実施しました。

現場活動に必要な知識、技術及び体力を習得するため、1か月にわたり厳しい研修を受け、その集大成として身につけた厳正な規律、部隊行動、そして消防技術を一丸となって披露しました。

新規採用職員は、この研修を終え、ようやくスタートラインに立つこととなります。

船橋市消防局職員一同、彼らとともに今後も更なる技術の向上に努め、船橋市民のため日々邁進してまいります。



東  
西  
南  
北

## 施設警備員の救命処置により心肺停止した男性を救命

～適切な処置を行った3人が勤務する警備会社に感謝状を贈呈～

### 船橋市消防局

船橋市東消防署では、令和4年5月9日（月）に感謝状贈呈式を行いました。

当事案は、市内大型商業施設にて突如心肺停止状態に陥った50歳代男性に対し、大型商業施設の警備員3名が連携し、胸骨圧迫及び自動体外式除細動器（AED）を使用して心肺蘇生を行い、到着した救急隊にその後の処置を引き継ぎ救命することができたものです。

迅速に適切な救命処置を行い、尊い人命を救った3名の方の勤務先である警備会社に、船橋市東消防署長から感謝状を贈呈しました。



東  
西  
南  
北

## 令和4年度消防救助技術大会消防長査閲を実施

### 我孫子市消防本部

我孫子市消防本部では、5月19日（木）、消防救助技術千葉県大会出場に伴う消防長査閲を実施しました。

これは大会に向け強化訓練を約4か月間実施した、その効果を確認したものです。前大会から3年ぶりの開催ということもあり当市救助隊員一同、より気合の入った訓練を行っております。

この成果を大会だけでなく、災害から我孫子市民の『安全・安心』を守るため、日々精進してまいります。





# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 令和 4年 9月

- 7日 婦人防火研修会(千葉県消防学校)
- 15日 第41回全国消防殉職者慰霊祭  
(ニッショーホール)



**2022年度 全国統一防火標語**  
**「お出かけは マスク戸締り 火の用心」**

### <表紙の説明>

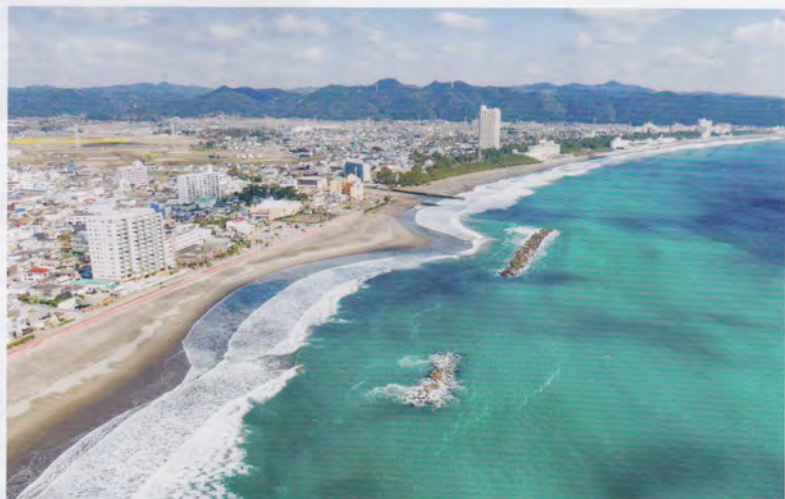
#### 前原・横渚海岸（鴨川市）安房支部

前原・横渚海岸は、『日本の渚百選』に選ばれた海岸です。

ゆるやかな美しい弧を描いた海岸線沿いには、植栽されたヤシの木が並び、南国ムードを醸しています。

また、海岸沿い約1キロメートルに渡って、「海浜プロムナード」が整備され、海を間近に感じながらウォーキングなども楽しめます。

夏季には海水浴場の開設や納涼花火大会などのイベントも開催され、たくさんの観光客で賑わいます。



### <記事の訂正について>

令和4年6・7月号の6ページ「令和4年度消防（局）長」中で、旭市消防長の名前表記に誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。御迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

（誤）伊藤 秀貴 ⇒ （正）伊東 秀貴